



先進的なまちづくり

グローバルティの時代に対応したイノベティブなまちづくり

目標

- 情報通信技術を活用した新しい働き方に適したオフィス、住宅、商業施設などを提供します。
- インタラクションの場を創出し、ベンチャー企業や新しい知的価値創造を支援します。
- 国や都と協力しながら、東京・丸の内の魅力を高めアジア都市間における競争力を向上させます。

KPI (重要指標)

- KPI 6** 大丸有地区における外国金融機関事業所数
- KPI 7** EGG JAPAN 参画企業数 (内、海外企業)
- KPI 8** 大丸有地区における光ファイバー接続ビル数

丸の内のグローバル化の進展

「丸の内から世界へ」「世界から丸の内へ」 ビジネス支援を通じて将来のマーケットを開拓

都市のまちづくりにおいては、そこでどれだけ多くの価値が生み出されるかが、国際競争力の鍵であると考えています。三菱地所(株)は、丸の内一帯を、世界の大都市と競える魅力ある街にしていけるために、さまざまな取り組みを進めています。

持続可能な発展に寄与する街づくり

異なるものの活発な交流や力強い組み合わせが、新たな価値を生んでいく街、丸の内。私たち三菱地所(株)が丸の内という街のあり方をめざす象徴的な取り組みの一つが日本への進出を図る海外企業と海外への事業展開をめざす日本の中小ベンチャー企業などへの事業開発支援を行うプラットフォーム「EGG JAPAN」です。

新丸の内ビルで展開するEGG JAPANは、オーダーメイド型の事業開発支援が受けられる「ビジネス開発オフィス」と、会員制ビジネスクラブ「東京21cクラブ」とで構成されています。「ビジネス開発オフィス」では、入居企業の事業拡大の可能性を上げる、各種ビジネスサポートメニューを用意しており、例えば、顧客候補や専門家の紹介、広報・イベント開催支援などを行っています。また、東京21cクラブには、起業家、大企業新事業担当者のほか、知財、資金、人材、法務、会計、学術等の専門家など約600名の多彩なメンバーが在籍し、所属する企業や団体の枠を超えて、新規事業の創出や活発なネットワークの形成が行われています。EGG JAPANは、日本・東京の産業の活性化、雇用の創出に貢献するとともに、丸の内エリアにより多くの企業が集積し、新たなオフィス需要を生み出すことをめざしています。



EGG JAPAN

数値で見る丸の内のグローバル化

大丸有地区における
外国金融機関事業所数

KPI
6

72ヶ所

EGG JAPAN 参画企業数
(内、海外企業) 2016年4月1日時点

KPI
7

32(23)社

大丸有地区における
光ファイバー接続ビル数

KPI
8

63棟



Global Business Hub Tokyo

「Global Business Hub Tokyo」の誕生

丸の内一帯を、世界の大都市と競える魅力ある都市としていくために、さまざまな取り組みを進めてきた三菱地所(株)。2016年7月には、大手町駅直結のオフィスビル「大手町フィナンシャルシティ グランキューブ」に、海外成長企業や国内先端ベンチャー企業向けのビジネス支援施設「Global Business Hub Tokyo^(※)」がオープンしました。

三菱地所(株)ではこれまでも、大手町連鎖型都市再生プロジェクトの一環として、国際交流拠点や国際医療サービス・金融教育交流センターなどの整備を進めてきました。さらに今回は、海外企業等を誘致し新たなビジネス創出支援を行う拠点を創出することで、東京の国際競争力の強化に貢献します。

Global Business Hub Tokyoは、面積約824坪。家具付小割オフィス全50区画のほか、イベントスペース、会議室、共用ラウンジを備えています。また、入居企業に向けて、イベントなどでのビジネスマッチング、丸の内を拠点としたビジネスネットワークとの交流機会も提供。大手町を拠点に、ビジネス拡大をハードとソフトの両面でサポートする、利便性の高い施設となっています。三菱地所(株)が運営する「EGG JAPAN」で培ったネットワークやノウハウを活用しながら、幅広く事業サポートを行います。

(※)一般社団法人グローバルビジネスハブ東京(構成社員:三菱地所(株))が運営主体。



Terrace Lounge



BD Office。2~20名まで、さまざまな人数に対応できるオフィススペース



Community Lounge

丸の内がグローバル化に取り組む背景

都市のまちづくりにおいては、そこでどれだけ多くの価値が生み出されるかが、国際競争力の鍵であると考えています。あらゆるものをダイナミックに調和させ、新たな価値を生み出す街に。三菱地所(株)は、日本を代表するビジネスセンターの東京・丸の内が、これからもアジアの中で世界から選ばれる魅力的なまちであり続けるために、日本への進出を図る海外企業と海外への事業展開をめざす日本の中小ベンチャー企業などへの事業開発支援に積極的に取り組んでいます。

フィンテックの拠点となるコワーキングスペースを開設

2016年2月、三菱地所(株)は(株)電通、(株)電通国際情報サービスと協業で、フィンテック企業に向けたコワーキングスペース「THE FINTECH CENTER of TOKYO FINO LAB」(通称・フィノラボ)を丸の内に開設しました。

ITと金融を融合させた新たなサービス分野である「フィンテック」は現在、欧米を中心に注目を集めており、今後日本でも急速な関連ビジネスの発展が見込まれます。そのフィンテック企業向けに開設されたフィノラボは、机や椅子などの什器や通信設備を提供するサービスシェアオフィス。コワーキングスペースのほかイベントなどを開催できるセミナールームも設けているので、利用者同士、また外部の方をも巻き込んだイノベーション創出も期待できます。また、日本の金融を革新するビジネス・エコシステム形成をめざすプロフェッショナル有志個人が設立した「FINOVATORS^(※)」がここに拠点を置き、豊富なネットワークとノウハウでフィンテック企業を支援します。

フィノラボは、日本の金融ビジネスの中心地である大手町地区において、フィンテック企業の新たな集積拠点として、日本経済を牽引する大企業との相乗効果による新たなビジネス創出をめざしていきます。今後も、企業の枠を超えた交流活動の場をつくり出すことで、企業の成長やイノベーションの循環を生み出す「人が主役」のまちづくりを進めていきます。

(※)一般社団法人金融革新同友会FINOVATORS。

FINOLAB
THE FINTECH CENTER of TOKYO



1坪で全世界の旅行者におもてなしを ~外国人旅行者向け案内所に 「日本文化体験コーナー」設置~

三菱地所(株)が運営する「新東京ビル」内にある、外国人旅行者向け観光案内所TICでは、丸の内を訪れる外国人旅行者へのおもてなしとして、予約不要・無料の「着物等日本文化体験」コーナーを設けています。

これは、服の上から手軽に羽織れる簡易着物を着て、丸の内仲通りで記念撮影が楽しめるというサービス。

丸の内は、江戸を感じる皇居の風景、明治大正を感じる美術館や東京駅舎、そして現代の開発された街並みが調和する街。このような多面性を持つ丸の内の街並みを背景に記念撮影を楽しんでいただくことが、旅行者のニーズに合致すると考え、スタッフ全員の手づくりで始めました。

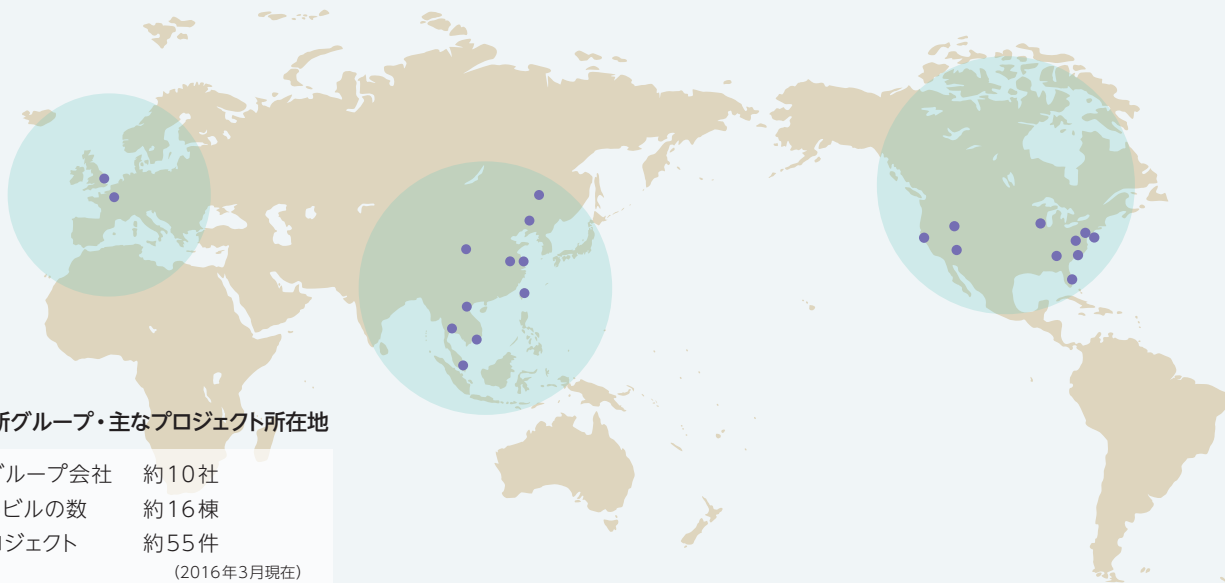
今では、このささやかなサービスを目的として丸の内を訪れる旅行者も増え、日本と丸の内エリアの魅力や歴史をより深く知ってもらうことに貢献しています。スタッフ全員でサービスの充実に努めています。



その他の取り組みはWEBで紹介しています。
<http://www.mec.co.jp/j/csr/advanced/index.html>

世界に広がる三菱地所グループのまちづくり

グローバルに事業を展開する三菱地所グループ。1972年の三菱地所ニューヨーク社設立以来、築いてきた実績と幅広いネットワークを活かして、米国や英国、そしてアジア地域での不動産開発・賃貸事業を展開する一方、世界のさまざまな場所で、地域の皆さまとともに社会・環境に配慮したまちづくりに取り組んでいます。



● 三菱地所グループ・主なプロジェクト所在地

海外のグループ会社	約10社
所有するビルの数	約16棟
開発プロジェクト	約55件
(2016年3月現在)	

欧州

新規物件の環境認証取得

英国・ロンドンでは三菱地所ロンドン社を通して、金融街シティにおける複合施設の開発事業「パタノスタースクエア再開発プロジェクト」や三菱商事(株)との共同事業である「ボウバルズ・ハウス再開発プロジェクト」、ウェストエンド地区における複合開発事業「セントラル・セント・ジャイルズ再開発プロジェクト」に参画してきました。また、2016年4月にはシティにおけるオフィスビル建て替え事業である「8フィンズベリー・サーカス」を竣工させました。現在はロンドンに8棟、フランス・パリに1棟のオフィスビルを所有しており、積極的投資を続けています。新規物件の開発にあたっては、環境評価制度BREEAM^(※)の認証取得に積極的に取り組んでいます。

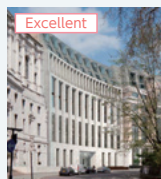
(※)英国建築研究所による建造物の環境性能評価システム

認証取得プロジェクト



セントラル・セント・ジャイルズ／ロンドン

英国大手生命保険会社リーガル&ジェネラル社との共同事業で、延床面積約66,000m²、オフィス・店舗棟および住宅棟から構成される複合再開発プロジェクト。2010年4月竣工。BREEAM認証制度において、申請時の最高ランク「Excellent」を取得しています。



8フィンズベリー・サーカス／ロンドン

シティに位置するオフィスビルの建て替えプロジェクト。2016年4月竣工。BREEAM認証制度において「Excellent」を取得しています。

地域・社会とともに

チャリティイベント“Cycle to MIPIM”への協賛

三菱地所ロンドン社は、毎年3月にフランス・カンヌで開催される世界最大規模の不動産コンベンションであるMIPIMの開幕に合わせ、ロンドンからカンヌまでの約1,500kmを走破するというチャリティイベント“Cycle to MIPIM”に協賛しました。



担当者2名も実際にイベントに参加。当該協賛金や参加者が集めた募金は、英国の恵まれない子どもたちのために養子縁組のサポートなどを行うチャリティ団体に寄付されています。

担当者のコメント



鍵富 真一
三菱地所ロンドン社

三菱地所(株)がロンドンに現地法人を設立して30年となりました。その間、世界を取り巻く環境は大きく変わり、技術の進歩も相まって、人々の働き方も大きく変わってきています。そこで働く人々、周辺地域への貢献を常に考えながら、当地で長年培ってきたリソースを活かし、さらなる事業拡大に向けた取り組みを行っています。

米国

環境への配慮で不動産の価値を高める

米国では、ロックフェラーグループ・インターナショナル社(以下、RGII)を中心に、さまざまな事業を行っています。ニューヨーク・マンハッタンをはじめとする各地域で大規模オフィスビルを所有・運営するほか、全米10州において約30の開発プロジェクトを推進中で、オフィス・物流施設・住宅など多岐にわたる事業を展開しています。環境面では、新規開発物件・既存保有ビルにおいて環境性能評価LEED認証(※)取得とランクアップをめざすなど、環境への配慮で不動産の価値を高めることにも取り組んでいます。

(※)米国グリーンビルディング協会による建造物の環境性能評価システム

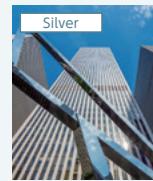
地域・社会とともに

Make-A-Wish Foundationで難病の子どもたちを支援

RGIIでは、難病の子どもたちを支援するNPO「Make-A-Wish Foundation」とタイアップし、社内で募金活動を実施しました。「Make-A-Wish Foundation」は、治療の困難な病気を持つ子どもを対象に、それぞれの子どもが持つ夢(Wish)を叶えることを目的とした慈善団体です。例えば、写真の少年Jonathan君(左端)はRGII社員の寄付によってMake-A-Wishのサポートを受けたひとりで、このたび、「日本に行ってみよう」という夢を叶えました。この取り組みに対するRGII社員の意識は非常に高く、全社員からの寄付金額は62,250ドル(約630万円)におよび、Jonathan君を含めて6名の児童のMake-A-Wishに役立てられました。



認証取得プロジェクト



1221 Avenue of the Americas / ニューヨーク

マンハッタン地区で1972年竣工。2009年にCertified認証を取得していましたが、水利用効率の向上等が評価され、2014年にLEED認証のSilverを取得しました。



フローハムパーク / ニュージャージー

オフィス、ホテル、商業施設、住宅等からなる大規模開発。フローハムパークのBASF本社ビルはLEED認証でDouble Platinum評価を獲得し、北米で最もサステナブルなオフィスプロジェクトの一つに選ばれています。

担当者のコメント



Daniel Bower

ロックフェラーグループ・インターナショナル社

現在1271 Avenue of the Americasの大規模改修工事を進めています。この改修によって、マンハッタンを象徴する本ビルの価値を向上させるのみならず、改修前と比べて30%強の省エネを実現し、現在のステータスであるLEED SilverからLEED Goldへのランクアップをめざしています!

アジア

発展するアジアで環境と調和したまちづくり

アジアでは、2008年に三菱地所アジア社を設立。現在はシンガポール、ベトナム、タイ、マレーシアで、オフィス・住宅の開発事業を行っています。開発物件では、Green Mark認証(※)を積極的に取得しています。

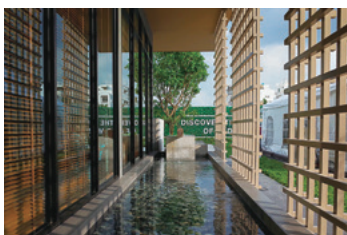
また2013年に三菱地所(上海)投資諮詢有限公司を設立し、上海・蘇州・成都での分譲マンション事業や、台湾での複合開発事業を手掛け、環境と調和した高付加価値なまちづくりに努めています。

(※)シンガポール建築・建設局が運用する、建築物の環境性能評価制度。

地域・社会とともに

タイで日本企業初の分譲マンション事業会社を設立

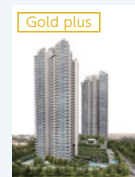
三菱地所レジデンス(株)は、2016年3月、タイ・バンコクで日本企業初の分譲マンション事業会社「Premium Residence」を現地のデベロッパーAP社と設立、4名の社員を派遣しました。バンコクは、所得の上昇、人口の流入、核家族化の進行などにより分譲マンションへのニーズが高まっています。当事業会社の設立によりAP社と2014年来の共同事業において培ってきたノウハウの共有を一層深めながら、バンコクの住宅市場に新しい価値を提供し都市生活者の利便性に寄与する商品を展開していきます。



日本のテイストを取り入れた「Life Pinklao」販売センター



認証取得プロジェクト



スカイ・ビュー / シンガポール

三菱地所アジア社とキャピタランド・グループが共同開発する分譲住宅。Green Mark Gold Plusを取得しています。



スカイ・ハビタット / シンガポール

三菱地所アジア社とキャピタランド・グループおよび清水建設が共同開発する分譲住宅。Green Mark Gold Plusを取得しています。

担当者のコメント



柴田 龍一

三菱地所アジア社

シンガポールではもちろんのこと、東南アジア諸国内においても日々環境への関心は高まっています。当社は現地企業と合併で事業を推進することを主としていますが、互いにノウハウを持ち寄り、より環境に配慮したまちづくりを行っていきます。